



福島県立郡山北工業高等学校

# 同窓会報

第64号

# 2014



～ 第12回北嶺祭同窓会ブース

## CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成25年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5～6
特集 飛躍 北の駿馬たち	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告) (進路状況)	8～9
平成24年度決算報告・会務報告	10
平成25年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
ゴルフコンペ・事務局だより	12

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

## 定期総会のお知らせ

■平成26年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時／6月21日(土) ●午後5時00分より 総会 (予定)  
●午後5時50分より 懇親会 (予定)
- 場 所／ホテルハマツ 郡山市虎丸町3-18 ☎ 024-935-1111
- 会 費／5,000円(平成25年度卒業生は3,000円)

※詳細については事務局へお問い合わせください  
 同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849  
 ※同封の振込取扱票を利用して参加費を納入して下さい

### ■東京支部総会

- 日時／平成26年6月7日
- 詳細日時・場所は上野精養軒

### ■日立支部総会

- 日時／平成26年10月
- 詳細日時・場所は調整中



## 会長あいさつ

同窓会会長 古川 弘



新春を迎え同窓会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。又、日頃より本会及び本校に対し物心両面にわたり多大なるご貢献を頂き誠に有難うございます。紙面をお借りしまして衷心より御礼を申し上げます。昨年6月29日の総会におきまして二期目の会長をお引き受けすることになりました。改めまして会員皆様のご協力、ご助言を賜ります様、心からお願い申し上げます。

可能な方々の為の復興公営住宅、自立支援戸建て住宅等新たな街づくり、そして雇用促進等、夢が持てる地域社会の形成を急がなければなりません。被災された他県と比べ、福島では特に放射能汚染を抱えている地域からは「私達は日本国民なのか」という声が聞こえて来ます。政府が先頭に立ち東京電力が懸命に努力している事は認められるがなかなか結果が見えてこない現実には半ば諦めさえ感じる事が有ります。新たな自然エネルギーをどう創設していくのか、政府のリーダーシップに大きな期待を寄せられている一人です。間もなく東日本大震災から三年が経とうとしています。『ほんとうの空・美しい大地』を一日も早く取り戻して元気な福島を発信出来る様、頑張つて参りたいと考えています。

積み重ね、社会のニーズに即応できる技術者集団でなければなりません。今こそ『ものづくり』を通してアピールして行こうではありませんか。少し学校に目を向けますと近年の生徒諸君の活躍は目覚ましく、特に国際ロボットコンテストに於いては日本代表として二年連続出場、見事に優秀な成績を収められました。地域はもとより大きく報道される度に多くの方々に勇気を与えており本当に嬉しい限りです。又、スポーツの分野での活躍も見事でソフトボールは全国大会出場の常連校として更にバレーボールでは県内での三冠を達成され念願の春高バレー全国大会出場を果たしました。正月五日には東京体育館での大歓声の中、懸命なプレーに大きな感動と勇気を頂きました。又、昨年は三年に一度の北嶺祭では継続して同窓会のコーナーを設けました所、多くの方々から懐かしい声も聞かれました。何時もながら同窓生の力強い歴史を振り返る事が出来ました。全国各地で活躍されている皆様にお会いする度に

心強くそう感じております。昨年の総会には多くの方々の参加を頂き郡山ビューホテルで開催されました。東京、水戸、日立支部の皆さんにも大勢参加して頂き恒例のゴルフコンペも盛況でした。お陰様で総会も盛会で終了でき、その後の懇親会、アトラクションでは本校・昭和52年北工（第一期生）建築科卒である友木厚志（宗像厚）さんの作詞・作曲による『ぼくらはふくしまキッズマン』をはじめとした歌とダンスの披露があり大変盛り上がりを見ることが出来、会場の皆さんに元気を発信することが出来ました。毎度のことながら、各テーブルでは懐かしう言葉をお交わす光景を見るたびに同窓会の素晴らしさを肌で感じ取ることも出来ました。いつも同窓会の歴史を語る時、諸先輩方の並々成らぬ努力と厳しい環境で有りながら社会変化の対応を的確に捉えて参られました事に對し、改めて敬意を表する次第です。

52年には統合され郡山北工業高等学校として八山田に新たなスタートを切った訳ですが本年は37年目にあたります。新同窓会員となられた皆様、心から歓迎申し上げます。本県は復旧、復興と相変わらず厳しい状況が続いていますが今後は特に若い皆さんの技術に期待が寄せられているものと思えます。本校で学び培った知識と・創造力を発揮して更に向上して欲しいと願っております。昨年のNHK大河ドラマでは、会津を舞台とした『八重の桜』が放映されました。大きな反響と共に観光面でも大きな起爆剤となり福島県の復興に拍車がかかって参りました。更にクローズアップされることは間違いありません。実践して結果の報告が期待される一年になりそうです。

今年の定期総会は6月21日（土）ホテルハマツに決定させていただきます。同窓会の『絆』を更に強固なものとする為にも多くの皆様の出席をお待ちいたします。結びにあたり会員各位並びに関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。



## 校長あいさつ

## 「飛躍の北工」

校長 高城 友治



平成25年4月1日、郡山北工業高等学校に着任いたしました。

本校は、福島県の高等学校における工業教育をリードする基幹校であり、東京ドーム2個分と言われる恵まれた校地に840名余の生徒が学ぶ県内屈指の工業高校です。

郡山北工業高校としては、まだ40年に満たない歴史ではありますが、前身ともいえる郡山工業高等学校、郡山西工業高等学校時代より多くの有為な人材を世に送り出してきた工業界の名門校といえます。

このような素晴らしい学校に赴任できた喜びを感じつつ、その職責の重さに身の引き締まる思いがいたしました。

私自身は理科の化学が専門であり、工業系ではありませんが、新聞報道等で北

工の活躍は以前から知っていましたので、各科においてどのような研究がなされているか大変興味を持っていました。

そんな中、着任して3週間も経たない4月18日、東北大で行われた第4回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内予選1位の朗報が届きました。昨年に引き続き世界大会出場という快挙に学校中が沸きました。世界大会はスペインのバルセロナ！

プレゼンテーションは当然全て英語、その後の質疑応答も英語ということを知り、発表内容よりもむしろ「英語」が気になっていました。

その心配はすぐに消え去りました、本校の英語科が全面協力し指導に当たってくれたからです。自然に普通科と工業科が見事な連携を取る姿を見て、本校教育の奥深さを強く感じました。その甲斐もあって、世界大会2位という素晴らしい成果を上げることができました。

これを契機に、2013年北工の活躍が破竹の勢い

で始まりました。

7月下旬から8月上旬に行われました、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）北部九州総体にソフトボール部、バレーボール部が出場しました。ソフトボール部はインターハイ8年連続出場という偉業を達成しました。また、バレーボール部は春の高校バレー福島県代表決定戦において6連覇の強豪相馬高校をストリートで破り、春高バレー初出場を果たしました。

さらに、高校生ものづくりコンテスト2013電気工事部門東北大会3位入賞、全国マーチングコンテスト東北大会銀賞、「トマトの茎と葉を原料とした機能性梱包容器の開発」で化学工学科のトマト研究チームがGoogleサイエンスフェア東北2013で日本科学未来館賞、高校生科学技術チャレンジ（JSEC）でテレビ朝日特別奨励賞（入賞は県内初）を受賞しました。

また、昨年末のNHK総合テレビの「嵐の明日に架ける旅ー希望の種を探しに行こうー」では、本校に嵐の二宮和也さんがリーダーとして訪れ、全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト（全国農業協同組合中央会主催）全国大会で敢闘

賞を受賞した「グラス・チョコパー酪DA農」やU-20プログラミングコンテストで経済産業大臣賞を受賞した「Labアルデ」が50分間に亘り紹介されました。今年度の実績はまだありません。枚挙に遑がないと言います。このように、生徒が全国、世界で活躍できる

## 新会員のことは



電子科 渡辺 優太

今年度、郡山北工業高等学校を卒業する私たちは、北工同窓会へ入会させて頂きました。

私たちは、三月十一日に発生した東日本大震災を経験し、不安の中、本校に入学しました。入学してから現在に至るまで、多くの方々に支えられ、勉強や部活動に励むことができました。コンピュータ部の世界大会第二位となったスマロボを初めとする輝かしい結果を残すことができました。また、学校生活の面でも、校内球技大会や北嶺祭で生徒が

のも、同窓生の皆様方のご援助があつてのことと感謝申し上げます。

今後とも生徒、教職員が一丸となり、世界に誇る郡山北工業高校を創り上げて行きたいと考えています。同窓生の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

一丸となり大いに盛り上がる事ができました。

進路につきましても、内定状況が良く、早い段階で進路が決定する生徒が多くいました。これらは皆、同窓生の皆さんが築いて下さった伝統、北工ブランドのおかげと感謝しております。また、地域の方々、生徒を第一に尽力して頂いた先生方のお蔭であると思えます。本当にありがとうございます。

これから私たちは、先輩の方々より受け継いだ伝統をさらに発展させ、次の世代を担う方々へ伝えていきたいと思えます。まだまだ至らぬ点の多い私たちではありますので、日々の努力を重ね、皆様の期待に応えられるよう、精進していきたいと思えます。これからご支援、ご指導をよろしくお願いたします。



# 平成25年度 同窓会定期 総会報告

平成25年6月29日(土)午後5時から郡山ビューホテルに於いて平成25年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が96名の参加を得て開催されました。

## 「閉会の言葉」

熊田良治同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。

## 「会長挨拶」

古川弘同窓会長より、出席の方々に、同窓会に対する理解と協力に対して御礼がありました。会長を引き受けまして、早いもので、もう2年が経ちました。その間、御承知のとおり3・11の大きな地震がございまして、あわせて津波とそしてまた原発事故と福島県はこの三重の苦にまでも大変な思いをしています。15万人という方々が避難を余儀なくされ更にまた若い人たちが子供達を含めて1万8千人が他県へ避難している状況です。

我々工業人として、これから何をすべきか、皆さんもそれぞれの立場でお仕事をされながら考えていると思いますが、まずは復興、郡山の元気を取り戻すということが、一番だと思います。

そういった意味で我々は使命感を持ちながら、この郡山を、さらに福島県を、そして全国に元気を出せるよう、みんなと共に頑張

て、より良い同窓会を作って行きたいと思っております。

開会の挨拶にも有りましたように生徒諸君が一所懸命に頑張っており、それらを出るだけ我々も支援をしながら、いい意味で同窓会の存在を示して参りたいと思っております。

元気の良い同窓会にして参りたいと思っておりますので、皆様の忌憚ない御意見を頂戴したいと思っております。甚だ簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

## 「校長挨拶」

高城友治校長より、同窓会定期総会に対して、お祝いの言葉を頂きました。

本年4月の人事異動によりまして、川俣高校より北工に着任いたしました。高城友治と申します。専門は理科の化学ですので、工業はまだまだ判らない点があるのですが、福島県の工業教育をリードする基幹校である郡山北工業高校のために全力を尽くす所存ですのでよろしくお願いいたします。

まず、4月1日に着任して、驚いたのは「全てにおいて北工は大きい」ということで、前任校が1学年3クラス、原発や震災・少子化の影響で、全校生が250名という学校でしたので一気に三倍位規模が大きくなりました。

当初戸惑いましたが、元気で明るい生徒と活力ある教員、そして同窓会はじめPTA・部活動後援会・北工後援会と多くの組織が支えている事を知り、本当に頼もしく感じました。

このように多くの組織に支えられているからこそ、生徒は本当に安心して学習・部活動に励めるの

だと思えます。その成果が現在、次々と現れており、毎日喜びの連続でございます。

実際に常連のソフトボールにブラスリまして今年度はバレエボールが全国大会を決めました。

文化部につきましては、2年連続世界大会、北京・バルセロナ、バルセロナでは第2位を取るといふ素晴らしい成果をあげました。福島県の復興を担う若い者の心が世界に通じたと思えます。

世界大会の出場に際しまして同窓会からも激励金を頂戴いたしました。本当にありがとうございました。

今後とも同窓生の皆様よりの一層の御支援を賜りたくお願い申し上げます。最後に同窓会総会を祝して話を結びました。

## 「支部長代表の挨拶」

各支部を代表して東京支部の八代英昭支部長より、ご挨拶を頂きました。

私は那工36年度電子科の第一期生の卒業生でございます。もう卒業して五十数年経っておりますが、まだまだ仕事を続けている状況であります。

まず、東京支部の現状ですが東京支部で把握している会員数が千二百名少々で活動内容は2年に一度、支部の総会を開催しております。

支部総会の案内は往復はがきをもって御案内しておりますが、予算の関係で460名ほど御案内を差し上げたのですが、実際にハガキが返ってくるのは半数の230位です。そのうち、30数名の参加を頂きまして、来賓を含めまして42名で昨年の6月2日に開催いた

しました。

## 「閉会の言葉」

熊田良治同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。

## 「アトラクション」

司会により「ぼくらはふくしまキッズマン 友木厚志(北工一期建築)&ふあみれ堂」の紹介があり、ぼくらはふくしまキッズマンの体操指導と演奏を鑑賞しました。



「総会」



「アトラクション」

## 「懇親会」

伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、古川弘同窓会会長の挨拶、高城友治校長の挨拶、来賓を代表してPTA会長、長谷川栄伸様よりご祝辞をいただき、本部顧問の増子久治様のご発声により懇親会に入りました。

また、多数参加の中で行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に熊田良治同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。



第11回同窓会ゴルフコンペの結果

結果(成績)  
優勝 波辺 正一 OUT39 IN40 HC7.2 NET71.8  
準優勝 遠藤 文昭 OUT48 IN47 HC22.8 NET72.2



# 支部だより

## 東京支部



東京支部長  
八代 英昭

平成26年度の新しい年度を迎え同窓会会員の皆様のご健勝ご活躍をおよこし申し上げます。又新卒生をお迎えすることができまことを心からお祝い申し上げます。

新卒生をお迎えする言葉として「卒業」の語源を調べてみました、漢和辞典で「卒業」の「卒」を引くと「終える」という言葉が見つかり、和英辞典を引くと、commencementという言葉がみつかり、よつとびつくりcommencementは「始まり」を意味する言葉が含まれていたのである、すなわち「卒業」の言葉には「新しい旅立ち」というニュアンスが認められる。

一方我が家にある和英辞典で「卒業」はgraduationとあり語源を調べると、ラテン語のgradus(グラドウス)で、「階段、段階」の意味らしい、つまり階段を一步步登るイメージがgraduationという英語にはこもっている。

日本語の「卒業」という言葉からは発想すれば進学する人は新しい学舎の門をくぐり、就職する人は一歩早く社会の門をくぐるといったイメージがつきまとうが、しかし、英語の場合、graduation、にせよcommencementにせよ3年間学び終えた全員に対し、もう一段上方に足を踏み出すよう促す言葉となっている。

昨年の母校の活躍ぶりでは、「国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテト世界大会」で日本代表として参加して、世界の大学生チームの中の高校生チームの準グランプリ受賞は本当におめでとう御座います。又昨年12月には夕食を終え、なにげなくチャネルをNHK番組に変えたら「発明大好き未来を支える高校生」のタイトルで部活動の様子放送されており、びつくりすると共に益々母校の活躍に誇らしい気分となりました。

さて、東京支部の活動状況であります、現在会員数1212名で同窓会活動を展開しており、活動の内容は隔年開催する支部総会、本部総会及び日立支部、水戸支部総会への参加、年に3回〜4回開催する役員会等が中心であります、今年支部総

会の開催年であり、6月7日(土)「上野精養軒」にて開催予定ですので、新たに幹事役員を4名ほど増員して役員会を構成し、これから準備していきたいと思っておりますので、1名でも多くの参加を望みます。

東日本大震災から3年が経過し、復興状況はこの目で見ておりませんが、新聞等の報道ではまだまだの様子ですが、一日でも早い復興を願うと共に、同窓会の益々のご発展とご繁盛を、そして皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## 日立支部



日立支部長  
丸山 正一

平成26年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。日立製作所及び日立関連会社の現役所員及びOBの方々に構成されている日立支部は、現在、会員数86名(内OBの方45名)で同窓会活動を展開しており、OBの方々の人数が現役を上回る組織となりました。しかし、ここ数年は、毎年1名から2名の卒業生が日立地区に配属とな

り、世代交代が進みつつある支部となっております。また、現役の方々は、職場の核で活躍され、多忙な日々を送られております。特に日立製作所とその関連会社は、平成26年は新たな飛躍の年と位置づけており、平成25年は、その為の組織変革が進められた年でもあり、変革する組織の中で仕事を進めて行くという厳しい状況が続いた一年だったと思えます。そのような会員同士のコミュニケーションを深める目的で同窓会活動を進めてきました。以下に平成25年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

### ① 日立支部総会の開催

今年度は7月6日(土)日立市のホテル天地閣にて実施致しました。当日は高城校長先生をはじめ、同窓会本部から古川同窓会本部長、矢部同窓会本部長、次長、東京支部から八代支部長、水戸支部から浅野支部長他、多数のご来賓の方々に参加いただき開催いたしました。総会後に開催した懇親会では、来賓の方々によるご挨拶及び母校の状況報告、各支部の状況についてもご紹介いただきました。特に今回は、平成24年度卒の新人2名にも参加してもらい、若手とOBの方との交流の場となりました。特に今回の総会で個

人的に印象に残りましたのは、本部事務局から参加いただいた矢部事務局次長が、自分と同じ昭和48年度郡工卒だったこともあり、学生当時の話をさせていただき、昔に戻ったような時間を過ごすことが出来、同窓会の良さを改めて感じた機会となりました。参加者全員が同じ想いだっと思えますが、このような機会でないとならないこともあり、盛会な内容となりました。

### ② 本部総会、他支部総会への参加

6月29日(土)に郡山ビューホテルで開催された本部同窓会の総会にも日立支部から参加しました。活発な本部の活動紹介や、同窓生によるコンサートのアトラクションもあり、盛会な本部総会で、日立支部としても刺激を受ける内容でいつもながら楽しいひと時を過ごさせていただきました。また、11月9日(土)に茨城の勝田クリスタルパレス長寿荘で開催された水戸支部総会には日立支部から3名で参加させていただきました。総会に先立ち、日立製作所水戸事業所のエレベーター試験タワーの見学も行なわれ、世界一のエレベーター試験塔に参加者一堂感動させられ、貴重な経験をさ



せていただきました。またその後の総会懇親会でも、水戸支部の方々のブロック毎の紹介があり、団結力の強さを印象付けられました。今後も、継続的に参加し、本部及び他支部の活動を支援していききたいと思っております。

以上、平成25年度の活動状況について紹介させていただきましたが、日立支部としましては、世代交代を進めながら、会員同士の情報交換、母校及び同窓会本部とのパイプ役など、支部としての役割をなお一層意義あるものにしていきたいと考えております。最後になりましたが、母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄を、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## 水戸支部



水戸支部長  
浅野 利光

平成26年の新年を迎え同窓会会員の皆様にはますますのご健勝のこととお喜び申し上げます。

水戸支部同窓会も会員共々、穏やかな新春を迎えることが

できました。今年も支部会員の結束と親睦を図る決意をしているところであります。

なお、昨年の水戸支部総会では同窓会本部の古川会長をはじめ、高城校長先生や同窓会本部役員の皆様と東京支部長、日立支部長のご来賓を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、昨年に行いました水戸支部総会では初めての見学会を併せて行いました。

見学会は、私ども同窓会会員の就職先である(株)日立製作所水戸工場都市開発システム社水戸事業者が建設したエレベーター研究塔でした。この水戸工場には山崎功顧問

(S29機械科)をはじめ会員11名が就職された職場であり、今回のエレベーター(ジータワ)は日立創業100周年の2010年に、213メートルある世界一の高さを誇るもので、世界的な建築物の高層化・大規模化に匹敵するものとして、技術と品質をさらに磨きをかけて開発されたものです。

当日は来賓の皆様と共に総勢30余名が見学に参加しました。そしてこの事業に参画したまた見学の準備等に携わった会員の橋本二郎さん(S52電子科)宗形三男さん(S53電子科)斉藤正光さん(S55機械科)渡邊桂哉さん(H7情報技術科)達から縷々説明を

受けてからエレベーターに乗りました。約180メートルにある展望所まではほんの僅かの時間で上り、動き出しや停止の性能は素晴らしいものでした。当日は残念ながら曇り空であったため富士山を眺望することは出来ませんでした。高いところから下界を眺める気分は爽快なものとしてくれました。

また、工場構内は緑豊かな環境を形成しており、都市緑化保全の企業として、『みどりづくり』と共に『次世代に向かうモノづくり』に挑戦していることも感じられる職場環境でした。

この見学会を終えたのち総会会場に向かい、無事水戸支部総会並びに懇親会を盛会裏に開催できましたことに改めて感謝を申し上げます。

水戸支部同窓会は会員数が減少の傾向ですが、私ども先輩達が活躍している職場に後輩達新規卒業生の就職を希望されることを願っております。

郡山北工同窓会のみならずのご発展をお祈り申し上げますと共に、今後とも水戸支部同窓会に対してのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



プロパンガス・灯油販売・水道工事・下水道工事  
フレンドホーム 正しい家づくり 通気断熱WB工法  
冷暖房設備工事・新築・リフォーム

**SHIN SAN 株式会社 新産**  
代表取締役 二瓶 剛一

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4  
TEL(024)922-4815 FAX(024)934-1430

ホームページ 新産 郡山 検索  
E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp

DO AMENITY ビル総合管理 **株式会社 東北セイワ**  
代表取締役 森田 明孝

本社/福島県郡山市堤三丁目186番地  
TEL 024-952-8355 FAX 024-952-8377  
E-mail:t-seiwa@topaz.plala.or.jp  
http://tohoku-seiwa.co.jp

ビル総合管理 冷暖房機器保守管理・工事  
建築物設備管理保全業務 空調機器保守管理・工事  
消防防災設備保守管理・工事 省エネルギー工事  
特殊建築物調査/建築設備検査 節水システム販売・工事  
建築物環境衛生管理業務 防犯設備/住宅火災警報器  
水道工事/管工事 進園設計施工

本格派中国料理 **龍宮城**  
代表取締役社長 橋本 正喜  
(昭和42年度機械科卒)

安積店/〒963-0107 郡山市安積4丁目38  
TEL(024)946-3171 FAX(024)946-3107  
西ノ内店/〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9  
TEL(024)939-4649 FAX(024)939-4655  
http://www.ryuguiyo.jp  
E-mail info@ryuguiyo.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

サイエンス全般 計画から施行・メンテナンスまで

**株式会社 クリエイティブダイワ**  
http://www.c-daiwa.co.jp

福島県郡山市田村町金屋字下夕川原6番地 〒963-0725  
TEL(024)944-0088(代) FAX(024)944-0066

総合建設業 **株式会社 オオバ工務店**  
代表取締役社長 大場 俊之

国土交通大臣許可(特-21)第9138号  
本社/福島県郡山市富田町字権現林3番地の4  
営業所/東京・白河  
TEL.024-961-6500 FAX.024-961-6501  
http://www.oba21.com

営業品目  
火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備  
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

**田村通信防災工業株式会社**  
代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1  
TEL(024)945-2882 FAX(024)946-2875  
E-mail:tamura-t01@isis.ocn.ne.jp



# 特集

# 「飛躍 北の駿馬たち」

## 「ふくしま発、技術者のタマゴたち」 〜 技への飽くなき挑戦 世界へ 〜

コンピュータ部顧問 深澤 剛

平成25年6月にスペインのバルセロナで開催された第4回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストにコンピュータ部の高畑悠、橋元佑真、鈴木祐太、関根悠太（情報技術科3年）の4名が国内予選1位で日本代表として出場し、世界各国の主在大学院生や大学生が出場する中、高校生チームとして、世界初となるSecond Prize（2位）に上位入賞することができました。世界大会では、一般の方に対するポスターセッションと審査員に対するプレゼンテーションで製品の評価が行われました。開発した製品の魅力をどのように伝えるか。福島の工業高校生の技術力で世界一へ挑戦するため、「Smart ROBO」を創りました。東日本大震災後ロボットは様々なメディアで取りあげられ、特に原子力発電所の問題解決のために、ロボット技術の発展が必要不可欠であることを認識しました。そこで、彼らは誰でも容易に操縦でき、探査ロボットにも活用でき、「Smart ROBO」の開発に取り組みました。安定性と完成度を向上させるために、試行錯誤し、より実用化のためにさまざまな困難を克服して世界大会に望みました。海外の方にも理解しやすいよ



うにプレゼンテーションを工夫するなど最高の仲間たちと創った「Smart ROBO」が世界で評価されるように妥協せずに取り組む姿は、「北工 魂」そのものでした。結果はもちろんです、帰国後に多くの報道で取り上げていただき、福島に明るいニュースを届けることができたことをたいへん嬉しく思います。

## 「全国で勝つ」

ソフトボール部顧問 会 沢 尚 公

この度は、同窓会報に郡山北工ソフトボール部の活動を掲載して頂きまして誠にありがとうございます。今年度の活動について、参加した主な大会を振り返りながら報告したいと思います。

今年度は、3月に静岡県富士宮市で開催された全国高校選抜大会に出場しました。初戦、地元静岡県代表の掛川工業高校と対戦し、8-3で勝利しましたが、2回戦で岡山県代表の新見高校に延長戦の末2-3で惜敗してしまいました。新見高校は中国地区大会優勝校で、今大会もその後はベスト4まで勝ち進んだ強豪で、敗戦の悔しい気持ちをもちながらも、全国レベルでも互角に戦うことができました。という手応えも感じました。

4月に入り、新入部員を迎え8年連続の全国高校総体出場を目指し、日々の練習や遠征試合に取り組んできました。そして、迎えた6月の県大会では4チームで行われたリーグ戦を3戦全勝の1位で通過し決勝トーナメントに進みました。準決勝では、安積黎明高校に6-0で勝利、決勝では福島東高校と対戦し、7-1で勝利して8年連続の全国高校総体への出場権を得ることができました。県大会では、結果だけを見ると失点が決勝での1点のみと

危なげない試合を展開することができました。これも選手全員がひとつの目標に向かい一丸となって、心身ともにベストの状態で大大会に参加できたためだと思います。

6月中旬には岩手県花巻市で開催されました東北高校選手権大会に福島県代表として出場しました。県大会を勝ち抜き、次は「東北チャンピオン」として全国へ行く」という目標を持って練習しました。初戦となる準決勝で、青森県の五所川原農林高校に10-0の4回コールドで勝利しました。決勝戦では山形県の南陽高校と対戦し、2-1で勝利し優勝することができました。しかし、8月に福岡県福岡市で開催されました全国高校総体では、初戦で佐賀県代表の牛津高校と対戦しましたが、2-9で敗れ残念ながら勝利することはできませんでした。改めて、全国大会で1つ勝つことの難しさを知りました。

現在は1・2年生の新チームとなり、「9年連続の全国高校総体出場」そして「全国で勝つ」ことを目指して、更なる挑戦をしていきたいと思えます。



## 「悲願の夢舞台に」

バレーボール部顧問 渡 辺 秀 雄

年明け早々の1月5日。第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場してきました。会場は東京体育館。今までに見たことのない体育館の広さ。観客席の多さ。そして4面のオレンジ色のコート。こんな場所です。

試合をするの？生徒の率直な感想でした。朝8時からの開会式、入場行進に全員が参加し、午後の試合に備えました。

相手は連続出場している香川県代表「高松工芸」。万人の観衆がオレンジコートを観ている中、試合が始まり、試合をしている感覚を楽しむまもなく1セット目が終了。2セット目もやつと落ち着いてきたと思つたら時すでにおそし。終了のホイッスルが鳴つた。初出場です。この難しさを感じた試合でした。

今回、北工バレー部OBの悲願であった「春高バレー」に初出場し、部員達は今までに体験したことのない貴重な経験が出来たとおもいます。また、今回の出場に際し、同窓会の皆様に、ご支援を頂きました。来年もぜひ、夢の舞台に立てるよう頑張ってくださいと思います。





# 生徒会だより

## 平成25年度 生徒会活動状況

生徒会顧問 鈴木 恒雄

今年度は、生徒会がもつとも忙しい年回りとなった。通常行事に加えて、10月には三年に一度の公開文化祭の「北嶺祭」や、年末には「生徒会長サミット」を担当するなど「フル操業」状態であった。

まず、夏休み前に開催した「球技大会」は、2日目に雨天による種目変更を余儀なくされ、その準備や各競技種目の進行、得点集計など全体的な運営が滞り、関係者に多大なご迷惑をお掛けした点をお詫びしたい。次年度は、この反省を生かし、更なる綿密な計画を立て、それらの課題を克服していきたい。

続いて「北嶺祭」だが、「実行委員会」の発足が遅れたことにより、ポスターやテーマ募集などの準備が後手に回り、それぞれの組織においての準備が直前に集中するなどの不手際があった。しかし、開催期間に、大会等による公欠者が多い中で、の強行日程となったが、全校生徒が前向きに準備にあたり、例年にはなかったステージ発表や各科・各部・各委員会・各クラスによる催し物や模擬店などで大いに場を盛り上げてくれた。一般公開日のあいにくの空模様をものともせず、3千人を超える人出で各会場は大変な賑わいを見せ、生徒にとつて想い出に

残る文化祭となった。

また、部活動や学習発表の面では、昨年を凌ぐ目覚ましい躍進があり、華々しい成果を挙げた。年中、マスコミによる取材を欠くことがないほど、県内外あるいは国内外に「郡山北工此処にあり」を印象付けた年だったように思える。具体的には、コンピュータ部がバルセロナで開かれた「国際ナノマイクロナノアプレケーションコンテスト」で、世界第2位にあたる「セカンドプライズ」を獲得した。それは、独自に開発した「SmaROBO」というロボットが、人間の動きに合わせてリモート操作で縦横無尽に動き、しかも「スマートフォン」でその映像をリアルタイムで受信できるという優れものだった。その画期的なアイデアとその実用性が高く評価された結果であった。また、ソフトボール部、バレーボール部がインターハイや国体などの全国大会に出場した。ほかにも吹奏楽部のマーチング東北大会でも銀賞を受賞するなどの活躍があった。それ以外にも、電気部が福島県の農業再生の支援策として取り組んだ「グラスカッター酪DA農」がJA主催の全国大会で敢闘賞を受賞。また、「化学工学科トマト研究チーム」がテレビ朝日特別奨励賞を受賞するなどの快挙を達成した。最後に、躍進著しい郡山北工の本年度の活躍であるが、すべて紹介できたわけではない。この場で伝えきれない部分は、下記の一覧をご覧いただきたいと存じます。

## 平成25年度 部活動大会成績報告

### 全国大会

#### ・コンピュータ部

第4回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内予選 ..... 第1位 (世界大会出場)

第4回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(ICAN'13)世界大会 ..... Second Prize (2位)

第21回全国高等学校ロボット競技大会 (愛知大会) ..... 特別賞 鮎北城

#### ・バレーボール部

平成25年度 全国高校総合体育大会 バレーボール競技  
予選グループ戦 阿南工業1-2 決勝トーナメント 川崎橋2-0  
第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 ..... 1回戦敗退

#### ・電気部

高校生みんなDE笑顔プロジェクト決勝大会 ..... 敢闘賞 電気部 北工Re笑顔チーム  
第72回全国学生児童発明くふう展グラスカッター ..... 内閣総理大臣賞  
第11回高校生技術アイデアコンテスト全国大会 ..... 理事長特別賞グラスカッター・マイコン内蔵型

#### ・ソフトボール部

平成25年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技 ..... 1回戦敗退  
第68回国民体育大会ソフトボール競技 ..... 1回戦敗退

#### ・機械部

第21回高校生ロボット相撲大会全国大会 ..... 1回戦敗退

### 東北大会

#### ・ソフトボール部

第39回東北高等学校男子ソフトボール選手権大会 ..... 優勝  
第40回東北総合体育大会ソフトボール競技 ..... 準優勝

#### ・陸上競技部

第68回東北高等学校陸上競技大会 ..... 男子棒高跳 7位 (4m30) M3-1佐藤 誠

#### ・バレーボール部

第49回東北高等学校バレーボール選手権大会 ..... ベスト8

#### ・柔道部

第63回東北高等学校柔道大会 ..... 出場 A3丸山竜司

#### ・吹奏楽部

第26回全日本マーチングコンテスト東北大会 ..... 銀賞

#### ・電気部

高校生みんなDE笑顔プロジェクト 東日本大会 ..... 準優勝 電気部 北工Re笑顔チーム

#### ・機械部

第25回全日本ロボット相撲大会東北大会 高校生の部 ラジコン型 ..... 第5位

### 県大会ベスト3

#### ・陸上競技部

第59回福島県高等学校体育大会陸上競技 ..... 男子棒高跳 準優勝 (4m20) M3-1佐藤 誠

#### ・ラグビー部

第2回福島県7人制ラグビー大会 ..... 第3位  
第59回福島県高等学校体育大会ラグビーフットボール競技 ..... 第3位

#### ・バレーボール部

第59回福島県高等学校体育大会 バレーボール競技 ..... 優勝  
第66回福島県総合体育大会バレーボール競技 ..... 優勝  
第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 県代表決定戦 ..... 優勝

#### ・柔道部

第59回福島県高等学校体育大会 柔道競技 ..... 男子個人戦73KG級 第3位 A3 丸山竜司

#### ・ソフトボール部

第35回福島県高等学校男子春季選抜ソフトボール大会 ..... 準優勝  
第59回福島県高等学校体育大会ソフトボール競技 ..... 優勝  
第66回福島県総合体育大会ソフトボール競技 ..... 準優勝  
平成25年度福島県高等学校新人体育大会ソフトボール競技 ..... 第3位

#### ・ソフトテニス部

第11回福島県高等学校秋季ソフトテニス大会 ..... 第3位

#### ・コンピュータ部

福島県コンピュータ・アイデア・コンテスト 利用部門 優秀賞 Sma ROBO  
第20回福島県高等学校ロボット競技大会 ..... 第3位(鮎北城)

#### ・電気部

福島県コンピュータ・アイデア・コンテスト 利用部門 優秀賞 グラス・カッター酪DA農 電気部

### 地区大会優勝・準優勝

#### ・バレーボール部

第59回福島県高等学校体育大会バレーボール競技 県南地区予選会 ..... 優勝

#### ・陸上競技部

第59回福島県高等学校体育大会陸上競技県南地区予選会 ..... 男子棒高跳 優勝 M3-1佐藤 誠

#### ・ラグビー部

第66回福島県総合体育大会ラグビーフットボール競技少年の部県南地区大会 ..... 優勝  
第59回福島県高等学校体育大会ラグビーフットボール競技 県南地区大会 ..... 優勝

#### ・ソフトボール部

第59回福島県高等学校体育大会ソフトボール競技 県南地区大会 ..... 準優勝

#### ・ソフトテニス部

第59回福島県高等学校体育大会ソフトテニス競技県中地区予選 ..... 準優勝  
平成25年度福島県高等学校インドアソフトテニス大会県中地区予選 団体戦 ..... 優勝  
個人戦 優勝 石田 (建築2)・戸戸 (機械2-1)

#### ・電気部

郡山市発明工夫展 ..... 郡山市長賞 グラス・カッター酪DA農 電気部



# 卒業生の進路状況

進路指導主事 遠藤 仁一

今年度の卒業生は、中学二年生の時に東日本大震災に遭い、その年に本校に入学をしてきた生徒達です。四月の入学式は避難してきた方々の避難所として体育館を使用していたため、全体での式の実施はできず、各教室で校長を始め関係者が巡回しながら挙行しました。原発事故で地元から避難を余儀なくされた小高工業からの転校生もいます。私たち職員も、これからの学校での生活や、今後の指導にも不安を抱えていたことを記憶しております。

三年生の進路状況は、全体の六二%の一七八名が就職、三三%の一〇八名が進学を希望しています。割合的には例年通りです。最近では県内企業への希望者が増加し、地元志向の傾向にあります。求人数はリーマンショック以降、四年連続で増加傾向に有り、福島県内や近県の復興がすすむ中、求人状況は全体的に好調です。また、本校生は工業に関する専門性を生かした職種に就きたいと考えており、産別職業では、建設業や製造業、卸売り・小売業などへの就職が多くなっています。ただ、近年、若者の勤労観・職業観の変化、職業人としての責任感や使命感の欠如などの職業意識の希薄化が指摘されています。就職して

三年以内に目的をもたないまま転・退職をする割合が高く、定着率や勤労意欲の低下が見られます。本校生においても同様な傾向が見受けられます。取組みとしては伝統を重んじ、意欲を持った若者を育成していきたいと思えます。

進学状況は、四年制大学への進学者が昨年より増加しました。全体的に進学者は年々減少傾向にありましたが、大学進学者は専門学校への進学者より多い状況です。国公立大学への合格者が六名に達し、難関大学への進学も増加しました。大学・専門学校への就職率はいくらか安定したものの、公募や指定校推薦での受験者が多数を占めることから、進学意識の低迷と学力不足が心配されています。進学をするのであれば、しっかりとした目的意識をもって上級学校に入學し、専門性・技術や人間性を高めて卒業してほしいと思えます。

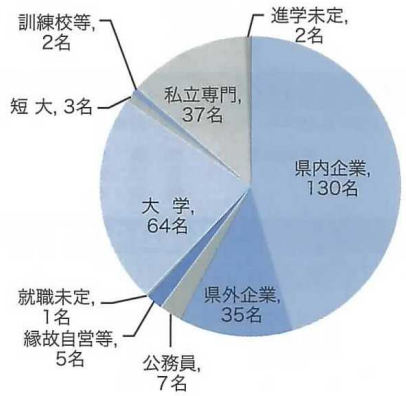
今年度の卒業生は、部活動やコンテスト、課外活動等を中心となりすばらしい活躍や実績を残しました。これからも困難を乗り越え、社会人として成長し、災害の「復興」を支える一員として活躍を期待したいと思えます。郡山北工出身者は就職先や進学先で大いなる活躍をしています。同窓生の皆様には、後輩となる本校生と接する機会がありましたら、ご指導等宜しくお願ひ申し上げます。

## 進学状況

平成26年1月14日現在

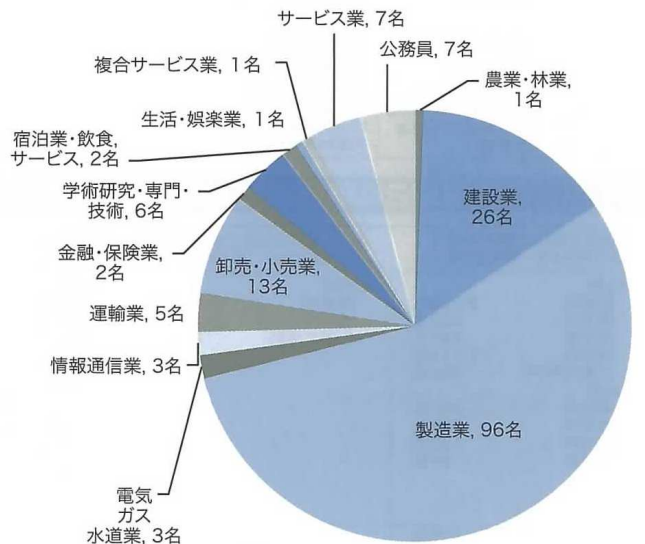
学科	進路先	学科	進路先
機械科	日本大学	情報技術科	会津大学
	順天堂大学		神奈川工科大学
	福島学院大学短期大学部		金沢工業大学
	ケイセンビジネス公務員カレッジ		千葉工業大学
	国際アート&デザイン専門学校		日本大学
	ホンダテクニカルカレッジ関東		テクノアカデミー郡山
	福島医療専門学校		ケイセンビジネス公務員カレッジ
	国際メディカルテクノロジー専門学校		国際ビューティファッション専門学校
	国際情報工科大学校		東京コミュニケーションアート専門学校
	日本調理技術専門学校		日本電子専門学校
	新潟国際自動車大学校	建築科	日本大学
	日本工学院八王子専門学校		日本工業大学
電気科	神奈川工科大学		国土館大学
	国土館大学		東洋大学
	中京学院大学	国際メディカルテクノロジー専門学校	
	日本大学	ケイセンビジネス公務員カレッジ	
	日立工業専修学校	化学工学科	福島大学
	ヒューマンアカデミー仙台校		山形大学
福島医療専門学校	日本大学		
電子科	神奈川工科大学		郡山女子大学短期大学部
	国土館大学		国際ビューティファッション専門学校
	創価大学		文化服装学院
	東北工業大学		日本美容専門学校
	日本大学		国際メディカルテクノロジー専門学校
	テクノアカデミー郡山		日本調理技術専門学校
	国際アート&デザイン専門学校		東京デザイナー学院
	仙台医健専門学校	郡山看護専門学校	
	東京IT会計専門学校		
	東京コミュニケーションアート専門学校		
日産栃木自動車大学校			

## 進路内定状況



## 産業別就職者数

平成26年1月14日現在





## 平成24年度 決算報告

1 収入総額 4,425,322円      2 支出総額 4,172,624円      3 差引残額 252,698円

### 1.収入の部

項目	予算額	決算額	増減額	備考
繰越金	561,471	561,471	0	平成23年度からの繰越金
入会金	1,680,000	1,680,000	0	入学生280人×¥6,000
会費	1,650,000	1,650,000	0	卒業生275人×¥6,000
会誌広告料	200,000	219,370	19,370	11社
一般寄付	270,000	314,230	44,230	
雑収入	529	251	△ 278	預金利息
合計	4,362,000	4,425,322	63,322	

### 2.支出の部

項目	予算額	流用増減額	決算額	残額	備考
基本金	333,000		333,000	0	入会金・会費総額の1割
会議費	420,000		287,500	132,500	三役会 幹事会
事務費	50,000		46,950	3,050	事務用品等
慶弔費	70,000	△ 25,775	43,597	628	香典等
通信費	1,480,000		1,462,764	17,236	会報(63号)発送費等
旅費	280,000		276,680	3,320	本部 東京 日立 水戸
会誌編集費	680,000		668,640	11,360	会誌(63号)印刷
渉外費	60,000	25,775	85,775	0	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	230,000	11,396	241,396	0	卒業記念品 会長賞
事務局費	60,000		58,000	2,000	事務局会議費
北嶺祭	0		0	0	学校祭補助
支部助成金	160,000		160,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	30,000		27,825	2,175	学校案内印刷
総会費	440,000		434,822	5,178	総会補助
予備費	69,000	△ 11,396	45,675	11,929	会長賞補助・学校案内補助
合計	4,362,000		4,172,624	189,376	

3. 差引残額¥252,698 は次年度へ繰り越します。

## 平成24年度 基本金報告

定期預金(～23年度)	6,679,593 円	定期預金
平成24年度基本金	333,000 円	定期預金
合計	7,012,593 円	

## 平成24年度会計監査報告

平成25年4月5日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大  
石田 秀 夫  
柳 沼 幸 代

## 平成24年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所	
H24	4.10	郡山北工業高校入学式	学校	
	4.20	郡山北職員歓迎会	学校	
	4.27	第1回幹事会	役員顔合わせ 定期総会について	ホテルハマツ
	5.30	第1回三役会	定期総会について	直雅
	6.2	東京支部総会	会長、副会長、校長、事務局長出席	上野 精養軒
	6.15	第2回幹事会	定期総会について	龍宮城安積店
	6.30	定期総会	総会・ダンスプロデモレーション	ホテルハマツ
	7.7	日立支部総会	会長、副会長、校長、事務局長出席	ホテル天地閣
	9.7	第2回三役会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について	す吾六
	10.5	第3回幹事会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について	郡山ビューホテル
	11.22	第4回幹事会	今後の活動および同窓会報第63号について	ホテルハマツ
H25	2.26	同窓会報第63号発行 同窓会入会式	18,000部印刷 会長、副会長出席	学校
	3.1	平成24年度卒業式	会長、副会長出席	学校
	3.29	郡山北工退職転出送別会 下旬	会長、副会長出席 17,000部発送	ホテルハマツ
	4.5	同窓会報第63号発送 会計監査	平成24年度会計監査	龍宮城

## 平成24年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成25年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,726名 電気科 2,479名 電子科 1,426名 情報技術科 1,350名 建築科 1,423名 環境システム科 501名 (H20年以降募集停止) 化学工学科 2,457名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月閉課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名		
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 14,035名
合計 23,842名		

## 職員異動報告 (平成25年度)

### 転入者

No.	氏名	教科等	前任校
1	高城 友治	校長	川俣高校
2	芳賀 菊博	教頭	小高工業高校
3	上田 正孝	国語	船引高校
4	相良 晴美	地理歴史公民	会津工業高校
5	佐野 慶一郎	数学	田村高校
6	渡邊 秀雄	保健体育	福島明成高校
7	吉田 すず子	英語	郡山高校
8	松本 邦枝	家庭	田村高校
9	池上 邦彦	工業(建築)	会津工業高校
10	森合 竜司	工業(建築)	喜多方桐桜高校
11	福田 俊彦	工業(建築)	二本松工業高校
12	井戸川 則隆	工業(電子)	小高工業高校
13	菅野 幸雄	工業(機械)	川俣高校
14	西尾 秀和	工業(機械)	白河実業高校
15	寿明 勝	工業(電気)	
16	内藤 徹二	工業(機械)	新潟県立上越総合技術高校
17	志賀 一幸	工業(機械)	川俣高校
18	府中 志乃	工業(電子)	日本大学工学部
19	渡邊 喜行	事務長	平工業高校
20	上村 千津	主査	原子力損害対策総室

### 転退職者

No.	氏名	教科等	転出先
1	佐藤 和紀	校長	定年退職
2	岡田 哲夫	国語	定年退職
3	高橋 洋子	社会	定年退職
4	國分 美代子	家庭	定年退職
5	鈴木 卓一	主任主査	定年退職
6	金子 卓矢	工業(機械)	退職
7	田母神 三知夫	工業(機械)	退職
8	池添 祥史	工業(電気)	退職
9	丹波 篤美	家庭	退職
10	井関 和明	教頭	安積黎明高校
11	大河内 克浩	数学	郡山明世高校
12	大森 茂	英語	田村高校
13	小針 幸雄	保健体育	富岡高校教頭
14	厚海 肇	工業(電子)	福島工業高校(定)教頭
15	鈴木 正美	工業(建築)	二本松工業高校
16	長谷 沼	工業(建築)	会津工業高校
17	東海 隼人	工業(建築)	喜多方桐桜高校
18	水野 英暢	保健体育	郡山市立大槻中学校
19	明珍 雅友	工業(電子)	福島工業高校
20	二階堂 勉	工業(機械)	二本松工業高校
21	加藤 昌宏	工業(機械)	川俣高校
22	大堀 昌造	事務長	消防学校主幹

## 平成24年度 新会員報告

科	人数
機械科	75名
電気科	43名
電子科	40名
情報技術科	40名
建築科	38名
化学工学科	39名
合計	275名

—地域に愛されるホテルを目指して—

郡山ビューホテル  
郡山ビューホテル アネックス

〒963-8004 福島県郡山市中町10-10  
TEL.024-939-1111(代)  
http://www.k-viewhotel.jp

のぼり、横断幕、バナー等  
1枚からお作りいたします。

担当…三高(北工2期 電気科卒)

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

**株式会社**  
**ヨシダコーポレーション**  
YOSHIDA

〒963-0724 福島県郡山市田町上合字北川田22-1  
TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)942-2233  
URL http://www.media-yoshida.co.jp

■FSC(CoC)認証 ・・・2005年1月20日取得  
●FSC認証紙 ●植物油インキ ●水なし印刷



## 平成25年度 同窓会役員名簿

氏名	勤務先名	卒校	年度	科
1 顧問	渡辺 達英	郡工	24	機
2 顧問	増子 久治	郡工	42	定電
3 顧問	滝川 孝太郎	西工	42	電
4 会長	古川 弘	郡工	40	建
5 副会長	熊田 良治	郡工	40	電
6 副会長	伊勢野 敏雄	西工	43	電
7 副会長	熊田 晃大	北工	54	建
8 監事	加藤 和	郡工	26	機
9 監事	石田 秀夫	郡工	39	定機
10 監事	柳沼 幸代	郡工	51	建
11 幹事	神山 英紀	北工	58	建
12 幹事	渡辺 俊彦	郡工	40	定機
13 幹事	渡辺 千尋	西工	43	化工
14 幹事	柳沼 隆夫	西工	45	機
15 幹事	佐久間 保一	郡工	46	建
16 幹事	今井 久敏	西工	46	機
17 幹事	宗像 恭一	郡工	48	建
18 幹事	中村 弘	西工	49	電
19 幹事	柳沼 信一	西工	49	電
20 幹事	竹中 広之	郡工	50	定電
21 幹事	大内 菊夫	郡工	51	定電
22 幹事	大原 英雄	北工	53	化工
23 幹事	今泉 恵一	北工	54	機
24 幹事	田母神 一吉	北工	54	建
25 幹事	影山 春男	北工	56	電
26 幹事	浦井 照夫	北工	59	機
27 幹事	國道 美行	北工	59	機
28 幹事	渋谷 健夫	北工	63	機
29 幹事	今泉 健太郎	北工	1	建
30 幹事	高村 幸恵	北工	6	建
31 幹事	千葉 祐子	北工	6	建
32 幹事	小林 吉行	北工	6	建
33 幹事	小林 剛	北工	7	建
34 幹事	橋本 直樹	北工	9	機
35 幹事	吉成 透	北工	20	建
36 幹事	三高 秀男	北工	53	電
37 幹事	橋本 孝行	郡工	50	機
38 幹事	宗像 文雄	郡工	50	電
39 幹事	青木 博泰	北工	52	機
40 幹事	村田 俊昭	北工	52	工化
41 幹事	竹石 真一	北工	60	電
42 幹事	本田 昇意	北工	54	機
43 幹事	岩崎 洋一	北工	61	建
44 幹事	三本 木 覚	北工	62	機
45 幹事	郡司 昌幸	北工	11	電
46 サッカー部幹事	佐藤 伸宣	北工	61	化工
47 ソフトテニス部幹事	高橋 重光	北工	18	機
48 ソフトボール部幹事	柳沼 一成	北工	7	子
49 バレー部幹事	渡辺 征明	北工	55	情
50 野球部幹事	佐藤 輝男	北工	54	建
51 H24代表幹事	橋本 拓哉	北工	24	電
52 H24代表幹事	石井 和真	北工	24	情
53 H25代表幹事	橋元 佑真	北工	25	情
54 H25代表幹事	君島 由樹	北工	25	建

\*H18~H23までの代表幹事はHPIにてご覧下さい。

### 事務局

55 事務局 局長	本田 文一	北工	52	子
56 事務局 次長	船山 卓也	北工	1	電
57 事務局 次長	矢部 重光	郡工	48	子
58 事務局 会計	高橋 由美	北工	63	化工
59 事務局 員	西尾 秀和	北工	60	子
60 事務局 員	渡辺 正一	郡工	49	工化
61 事務局 員	佐々木 郁雄	西工	50	機
62 事務局 員	笹島 貞夫	北工	61	子
63 事務局 員	阿部 昇二	郡工	51	子

## 平成25年度 ご協力者芳名簿

ご協力ありがとうございました				敬称略	受付順
氏名	卒年度	科	氏名	卒年度	科
岡部 康則	旧職員	本宮市	阿部 文英	旧職員	郡山市
成田 進一	平3北定工	郡山市	熊田 良治	旧職員	郡山市
川名 浩	昭44郡工化	郡山市	井上 安邦	昭40郡建	神奈川県
坂本 守	昭35郡機	郡山市	谷津 将康	昭37郡電	埼玉県
北原 正三	旧職員	福島市	添田 政昭	昭36郡電	千葉県
秋葉 史裕	旧職員	福島市	坂本 光利	昭26郡機	郡山市
吉田 太一	昭51郡電子	田村市	飯淵 勝	昭37郡建	茨城県
外山 浩	旧職員	いわき市	小泉 真生	平13北化	郡山市
佐藤 昭馬	昭35郡機	会津若松市	佐久間 紀	昭34郡機	北海道
相川 清文	昭43郡建	東京都	橋本 勝幸	昭42郡定機	茨城県
大戸 進一	昭39郡建	須賀川市	橋本 七郎	昭26郡機	東京都
小池 勝衛	昭34郡機	川崎市	大野 鎮夫	昭33郡機	神奈川県
小池 芳光	昭27郡機	神奈川県	宗形 孝至	昭37郡機	神奈川県
松尾 光章	昭44郡機	郡山市	波平 克己	昭34郡機	千葉県
松河 虔治	昭26郡機	群馬県	柳沼 喜七	昭40郡建	神奈川県
佐藤 勝	昭40郡機	埼玉県	小泉 安夫	昭41郡機	郡山市
山崎 功	昭29郡機	茨城県	中川西 隆	昭45郡機	栃木県
大河原博美	旧職員	郡山市	遠藤 正	昭41西電	東京都
遠藤 秀泰	旧職員	新潟県	関 勝彦	昭40郡定機	千葉県
小山 良一	昭33郡建	神奈川県	鈴木 悦雄	昭42郡電	千葉県
松本 英夫	昭28郡機	さいたま市	伊藤 孝志	昭45郡機	埼玉県
佐久間 藤好	昭43郡機	西白河郡	根本源 太郎	旧職員	石川郡
樋口 堅一	平22北電子	郡山市	結城 宏行	昭37郡電	神奈川県
池添 祥行	昭39郡電子	南相馬市	高山 光正	昭42西機	郡山市
鈴木 敬道	昭37郡機	白河市	北嶋 壽男	昭31郡機	田村郡
菅野 健七	旧職員	郡山市	木村 博司	旧職員	千葉県
先崎 嘉吉	平03北電	白河市	浅野 利光	昭37郡建	茨城県
星 正	昭54北電	須賀川市	渡辺 千尋	昭43西化	郡山市
斎藤 節夫	昭34郡機	郡山市	渡邊 郁恵	平11北建	郡山市
宮田 健児	旧職員	福島市	渡邊しのぶ	平15北建	郡山市
渡辺 正春	昭48郡建	千葉県	佐藤 幸永	昭53北工化	郡山市
吉田喜美夫	昭31郡機	横浜市	山澤 優樹	平21北環	郡山市
石田 忠一	昭39郡建	須賀川市	橋本 秀男	昭44郡工化	千葉県
田中 良夫	昭41郡機	栃木県	田母神三知夫	旧職員	郡山市
高原 三郎	昭27郡機	愛知県	小池 征男	昭34郡機	日立市
郡司 善壽	昭45郡機	静岡県	柏倉 秀雄	昭22郡機	東京都
村上 健士朗	平22北電	田村郡	福内 瑞男	昭33郡機	神奈川県
渡邊 靖夫	昭36郡建	神奈川県	大須賀 勝	昭51西機	埼玉県
村田 正作	旧職員	郡山市	鳴原 英明	平04北電子	長野県
折笠 和	昭44郡工化	木更津市	増子 哲	昭23郡機旧	郡山市
橋本 光正	昭36郡機	三重県	大橋 重幸	平05北建	千葉県
奥山 萌	平22北化	郡山市	増子 稔	昭39郡機	群馬県
田中 実	昭54北建	埼玉県	黒坂 亨	昭55北建	郡山市
高田 五郎	昭43西機	郡山市	高橋 賢治	昭31機	神奈川県
栗山 芳光	昭39郡電工	神奈川県	猪狩 次夫	旧職員	福島市
畑 吉春	昭29郡機	東京都	桃工建30会	昭30郡建	郡山市
國分 晃久	昭56北電	郡山市	橋本 太	昭54北機	郡山市
渡辺 紀夫	昭33郡機	東京都			

### 協力金のお礼とお願い

会報の発送に併せて協力金をお願い致しましたところ、95名(団体)の皆様より協力を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。協力金は同窓会運営のため、有効に利用させていただきます。

協力金の送付は、会報に同封された郵便払込取扱票をご利用ください。なお、金額欄、ご依頼人の欄に必要事項をご記入のうえ、郵便局で振込んでください。何口でも構いませんので、無理のない範囲で数多くの方々からご支援をお願いいたします。

郵便払込票は2種類同封しております。もう片方の払込用紙は、定期総会の申込み用となっております。お間違えのないようお願いいたします。

桃工建30会有志一同の代表として 根本源一郎様(写真左)と伊藤忠春様(写真右)が来校し同窓会活動協力金をお届けくださいました。ありがとうございました。



東北旅一第850号・福島県知事登録第2-102号

## (有)東北観光ツーリスト

(貸切バス・旅行企画募集)  
各手配・レンタカー

福島県郡山市並木4丁目1-1  
TEL:024-938-8577 FAX:024-938-8579

- 新・中古車販売
- 買取
- 钣金・整備
- 不動産賃貸

NTS CAR SHOP  
NTS 総合 エステイブ

代表取締役 渋谷 健夫

本社 福島県郡山市八山田三丁目22番  
〒963-8052 TEL024-927-6588 FAX938-1911  
営業所 宮城県石巻市大街道西3丁目1-2  
〒986-0859 TEL0225-25-4361 FAX25-4363



## 第12回北嶺祭



一般公開前日



テープカット



文鎮製作(機械科)



模擬店



電池製作(化学工学科)



模型展示(建築科)



世界第二位(情報技術科)



アトラクション



郡山駅前セレモニー



綿あめ製造機(電気科)



電子工作デモンストレーション(電子科)



同窓会ブース

## ゴルフコンペのご案内

- 平成26年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。  
多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事までご連絡下さい。
- 日 時：平成26年6月21日(土)
- 場 所：郡山ゴルフ倶楽部
- 定 員：約32名程度
- 申 込：コンペ幹事

佐々木郁雄(西50機械)  
柳沼 信一(西49電気)  
同窓会事務局  
電話 024-932-1199  
FAX 024-935-9849



## 事務局だより

本年度も皆様のご協力により64号会報を発行することができました。心より感謝申し上げます。  
2013年は北工にとって、大きな飛躍の年でありました。世界第二位、国体出場、春高バレー出場、各種ロボット競技全国大会出場と北工生が、世界・全国で活躍した年は未だかつてありません。昨今の今頃、『震災前の元気な駿馬』になってくれることを願いましたが想像以上に元気になりました。同窓会では、激励金を送り思いっきり活躍できるよう励励しました。  
本会の運営に際しまして、数多くの方々のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。これからも、負担の少ない範囲で数多くの皆様のご協力を頂き、在校生支援・同窓会運営を行って参りたいと思います。最後になりますが、同窓生の皆様のご活躍とご健康を祈念いたします。

発行所 福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
事務局 〒963-8052  
福島県郡山市八山田二丁目224番  
☎024(932)1199 ☎024(935)9849

発行人 古川 弘  
発行部数 18,000部  
発行日 平成26年2月26日



## WATAKEN

社団法人・日本塗装工業会会員

## 株式会社 ワタナベ建装

本 社 〒963-8815 福島県郡山市水門町185-1  
TEL024-943-0390(代表) FAX024-943-6748  
☎ 0120-17-0390

マイクロバス(29人乗り)・ワゴン車(10人・7人乗り)・乗用車  
ライトバントラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・3.5t)・3t積車載車  
冷凍冷蔵庫(軽・2t・3t積)の御用命は……

有限会社

## 郡山中央レンタカー



あいおいニッセイ同和損保 代理店  
MS&AD INSURANCE GROUP

代表取締役 渡邊 俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3  
☎ (024) 924-0844・932-8828  
FAX (024) 934-5334 〒963-8061  
URL.http://www.kcr.jp